

# 穀物のリーダー

2007年  
第1号

## 新しいデザイン、新しいタイトル

### CWB『穀物のリーダー』創刊

CWBの新しいニュースレター『穀物のリーダー』へようこそ。

このお客様向けニュースレターには、CWBを通して販売される製品やサービスについての情報、カナダ穀物業界関連ニュース、CWBの活動に関する記事などが掲載されます。『職員動向』の欄では、CWB職員とおお客様の会見の写真などがご覧いただけます。

『穀物のリーダー』はこれまで発行されてきました『カナダ穀物』に代わるものであり、四半期ごとに刊行、当社のお客様に配布されます。

「CWBは革新的なマーケティングと卓越した顧客サービスに全力を挙げて取り組んでおります」とマーケティング担当副社長ゴ

ード・フラテン (Gord Flaten) は語っています。『穀物のリーダー』は世界で最も信頼される穀物販売会社として力を注いでいる様々な取り組みをご紹介します。」

「斬新なデザインのこのニュースレターはその名前が全てを語っています」とフラテンは言います。「当社は世界最上の品質を備えた小麦と大麦を販売し、国際的に高い評価の顧客サービスを提供しています。」

これまでCWBのニュースレターをお届けしていたお客様には引き続き当『穀物のリーダー』をお送りいたします。新たに『穀物のリーダー』をご希望されるお客様は、[cynthia\\_hodgson@CWB.ca](mailto:cynthia_hodgson@CWB.ca)へ電子メールでお申し込みください。また、CWBウェブサイト[www.cwb.ca](http://www.cwb.ca)でもご覧になることができます。

## CWB新ウェブサイト顧客サービスに重点

[cwb.ca](http://cwb.ca)

違うサイト? いいえ、そうではありません。

CWBウェブサイトのデザインが一新されたのです。



「サイトに行って一番最初に気がつくのは最新感覚の画面のデザインです」農業生産者リレーションズ及び広報担当副社長ディアナ・アレン (Deanna Allen) はこう説明します。「しかし、新しいウェブサイトは見た目以外のところに再設計の重点が置かれています。つまり、ユーザーにとっての使いやすさ、新しいインターネット技術による最新の機能を取り入れたのです。」

例えば、ツールボックスにはサイト訪問者が読みやすいように字の大きさを変える機能、低速回線を使用している方のためのグラフィック削除機能が含まれています。

「サイトの内容は以前とほぼ同じです」とアレンは語ります。「しかし、製品を購入するお客様も生産者も、お探しになっている内容を簡単に見つけることができるよう全てを再編成しました。」

2006年11月に改訂されたこの新しいウェブサイトはCWBの質の高い顧客サービス提供と革新的マーケティングの促進が図れるよう設計されています。画面の上部にある「customers (顧客)」をクリックすると、西部カナダ産小麦と大麦の購入に関する特定の情報にアクセスすることができます。

CWBのウェブサイトには毎年お客様、農業生産者、報道関係者および一般の方など合計130万人を超える訪問者が記録されています。

# CWBマーケットプレイスで穀物の紹介

9月中旬、CWB主催による特別マーケットイベントが行われ、160名を超える料理評論家を始め200名に及ぶウィニペグの市民が訪れました。



カナダ最大の料理大会「クイジン・カナダ (Cuisine Canada)」は全国の料理評論家やシェフなど料理のプロを対象にした全国規模の大会で、カナダ産食品の使用促進を目的としたものですが、「CWBマーケットプレイス」はその一部として開催されました。「クイジン・カナダ」は二年に一度、毎回国内の異なる場所で開催されます。

9月17日ウィニペグ市のMTSセンターで開催された「CWBマーケットプレイス」では、15社を超えるマニトバ州生産者の食品を試食したり、ワインを試飲するブースが設置されました。会場で提供された食品は全てMTSセンターが準備しました。

マーケットプレイスを開催したほか、CWBはウィニペグに本社のあるガンズ・ベーカリー (Gunn's Bakery) と提携して、この全国的に有名なベーカリーによる見事なパン製品をCWBブースに展示したほか、西部カナダ産小麦を使った各種ベーグルを見学者に提供しました。

「催しの目的はカナダの料理評論家や料理の専門家に西部カナダ産の穀物を使った質の高い製品についてよく知っていただき、実際に味わっていただく機会を提供することです」と農業生産者リレーションズ及び広報担当副社長ディアナ・アレンは述べています。



その他、エルク、バイソン、牛肉、レンズ豆、豚肉、魚類などが試食に供されました。また地元産の果実酒の試飲も行われました。

大会では、講演、ワークショップ、農場などの現地見学、料理の実演、授賞式などが行われ、CWBブランディング担当ディレクターのデビッド・バローズ (David Burrows) が、西部カナダ産小麦と大麦を世界的なブランドにするために企画されたCWBの最新キャンペーンについてのプレゼンテーションを行いました。



## くニ知識

### 小麦

- 国内産小麦の原産地は、南西アジアの肥沃な三日月地帯（現在のシリア、ヨルダン、トルコ、アルメニア及びイラクなどの地方）として知られる地方である。
- 小麦が初めて栽培されたのは約9000年前であることが考古学的に確認されている。
- 小麦は地球上で栽培されている農作物のうち最大の耕作面積を持つ。
- その幅広い汎用性のため、一年中どの月も世界のどこかで収穫が行われている。
- 小麦は世界の食品カロリー全体の20%を供給している。
- 背丈2メートル以上に成長する小麦品種もあるが、ほとんどの品種は50センチメートルから1メートルである。
- 小麦から壁紙、化粧品、新聞用紙、板紙、石鹸、ゴミ袋、コンクリート及び接着剤など、食品以外の製品も作られる。

# プレーリー地方の 古い穀物エレベーターを復元

過去の歴史を保存しておきたいと願う地元のコミュニティによって、西部カナダに残る木造の穀物エレベーター5つが修復されました。

イングリスはマニトバ州の町で、ウィニペグ市にあるCWB本部から約250キロ離れたところにあります。昨年夏、このイングリスで古い穀物エレベーターの復元を祝う開幕式が開催されました。

以前、プレーリー地方には西部カナダの鉄道路線に沿って点在する町々に、6000近くの木造エレベーターが建っていました。高さ約25メートルにも及ぶこれら木造の巨人たちは地元農業の拠点でもあり、町のランドマークでもありました。

今では、現存する木造エレベーターの数は800を下回るほどになりました。大部分の木造エレベーターは腐朽したため、高い処理能力を備えたコンクリート製穀物ターミナルに建て替えられました。

1994年、イングリスの住民はイングリス地方遺産委員会を設立して地元のエレベーターを保存し、過去の歴史を生かし続けることを決定しました。

エレベーターの所有者もこの計画に賛同し、建物と周辺の土地の所有権を委員会に移譲しました。

同委員会は様々な方面から修復費用を調達し、CWBも未請求農業生産者支払金の特別会計より1万ドルの寄付を行いました。

エレベーターの復元のために、基礎の強化、ビンの部分的建替え、外壁と屋根の新装及び塗装などが行われました。エレベーター建物内部の事務所も改装され、修復されたエレベーター建物の一つにはギフトショップも開設されました。ヨーロッパ、日本、オーストラリア、米国を始めとする世界中の国々から多くの方がイングリスを訪れ、修復作業を見学されました。



## 新協定により西部カナダ産穀物の品質を確保

新しい穀物業界の協定によってカナダの穀物品質保証制度が、不適格品種の混入を許さない安全なものとなりました。

当協定は昨年農場グループと監督官庁の支持のもと、西部カナダの穀物取扱業者とCWBの間で合意された取り決めに基づいて制定されたもので、協定に参加した穀物取扱業者を対象に、2006-07穀物年度から導入されました。

不適格品種には特定の分類としての販売が登録されていない品種が含まれます。カナダでは、製粉、製パンまたはパスタ製造の際に小麦粉が発揮する性能などの最終使用時の特性を常に一定に保つため、穀物の分類ごとに一定の特性が規定されています。この特性の規定により西部カナダ産穀物が常に同じ性能を発揮するという一貫性が保証されています。

新しい協定のもとでは、プレーリー地方の農家は出荷する穀物が適格品種である

ことを記述した文書に署名することが求められます。また、正確を期すためエレベーターで採取したサンプルの保持と検査が要求されます。さらに、穀物につき虚偽の申告をした場合、そのために生じた損失に対する支払い義務が問われることもあります。

「この協定はCWBの顧客サービスの向上に大きく役立ちます」とCWB最高業務責任者ワード・ワイゼンセル (Ward Weisensel) は述べています。「私たちはお客様の製粉や製パンの規格に合う、性能の一貫した製品をお届けすることを使命としています。この協定のおかげで不適格品種の混入を防ぐことができ、お客様の品質要件を満たす製品を販売するというCWBの評判を守ることができます。」

小麦の分類毎の適格品種リストはカナダ穀物委員会 (CGC) が管理しています。リストにない品種を栽培することもできますが、製粉用小麦としてではなく、飼料用小麦としてのみ出荷することになります。適格品種リストに関して詳しくは、CGCウェブサイト [www.grainscanada.gc.ca](http://www.grainscanada.gc.ca) をご覧ください。



# 職員動向



## 7月、日本の製粉会社がCWB訪問、CWBマーケティング担当者と会合。

(左より) Ken Takemura氏 (Marubeni Corporation)、ダレル・ブシュック (Darrell Bushuk: CWBシニア・マーケティングマネージャー)、リサ・ネメス (Lisa Nemeth: CWB技術サービス担当プログラムマネージャー)、ドン・ボナー (Don Bonner: CWBマーケティングマネージャー)、Toshiaki Hiraga氏 (Nikkoku Flour Milling Co. Ltd. ディレクター)、Shigetomi Iwasawa氏 (Marusho Flour Milling Co., Ltd. エグゼクティブディレクター)、Shinji Oda氏 (Odazo Flour Milling Co., Ltd. 販売課長)。



最近CWB東京ジェネラルマネージャーに就任したデレック・スリウォースキー、東京事務所。スリウォースキーは日本のお客様との会合や東京探訪で多忙の毎日。2006年7月に東京へ家族とともに転居したことに満足しています。



今年の初め、デレック・スリウォースキー (CWB東京ジェネラルマネージャー) はBogasari及びInterflour社の購買・ロジスティクス担当者と会見。(左より) デレック・スリウォースキー、Joe Chan氏、N.K. Lee氏、Y.K. Lo氏。



昨秋ウィニペグで、エイドリアン・ミーズナー (Adrian Measner: 元CWB社長兼最高経営責任者; 右)、Primus Cheng氏 (Prima Ltd. 最高経営責任者) と会見。Prima Ltd. はスリランカの大手製粉会社。



デレック・スリウォースキー (Derek Sliworsky) もPrima Ltd. 幹部と会見。(左より) Daniel Wang氏 (顧問)、スリウォースキー、Primus Cheng氏 (社長兼最高経営責任者)。

1

『穀物のリーダー』は、カナダ小麦局 (CWB) 発行の出版物です。『穀物のリーダー』は、カナダの穀物販売制度や、CWBの動向、その他カナダ西部産小麦・大麦の販売に関する情報を、アジア太平洋地域の穀物業界パートナーにお知らせしています。

ご質問またはご意見は下記までお送りください：

Editor, The Canadian Wheat Board, P.O. Box 816 Station Main, Winnipeg, Manitoba, Canada, R3C 2P5  
電話：(204) 983-8620、ファックス：(204) 983-4678、questions@cwbc.ca